

any

ars nova yamaguchi

「エニ-」

Summer 2019

JUL.-SEP.

109

嫌悪に
満ちた
友情



Nakahara Chuya



Tominaga Taro

特集
特別企画展

「富永太郎と中原中也」

特集

03 嫌悪に満ちた友情

特別企画展

「富永太郎と中原中也」

08 any 通信

- ◎アーティストボイス 塚原悠也 (ダンサー / contact Gonzo)
- ◎お先に試写しました 「ボヘミアン・ラブソディ」 (監督:ブライアン・シンガー)
- ◎わたしも観ました 「ナイトクルージング」 村田 敦 (ベジタブル喫茶ToyToy店主)
- ◎読書の窓 アゴダ・クリストフ 『悪童日記』
- ◎この日の出来事 7月26日
- ◎MY TOOL 「SONY MDR-CD900ST(ヘッドフォン)」
中上淳二(山口情報芸術センター 音響担当)

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター
スイッチ総研×YCAM 特別納涼企画
館内ツアー型スイッチ

「あなたの知らない夜のYCAM」
「スイッチ」を押すと何かが起こる。3秒〜30秒の小さな演劇

中原中也記念館
中原中也記念館 開館25周年記念
トーク&ワークショップ
「紙資料を未来へ——文学館のシゴト」
あなたの知らない資料修復と本の世界

中原中也の会共催 公開講演
大林宣彦が語る「演じられる中也」

山口市民会館
オフィス300「私の恋人」
上田岳弘原作、小日向文世×のん×渡辺えり出演の新作舞台

アロハカーニバル2019
フラダンスを楽しむ! 知る!

13 星空の下で楽しむ映画上映。

14 イベントカレンダー 7~9月

INFORMATION



富永太郎 18歳

富永太郎 TOMINAGA Taro

1901年、東京生れ。詩人。東京府立一中から第二高等学校理科に進学。ボードレールの詩に影響を受け、詩作をはじめ。人妻との恋愛問題で21年退学。翌年東京外国語学校仏語科に入学するが、のちに中退。後上海・京都に遊び、京都で中原中也と知り合い、大きな影響を与える。24年12月、一中時代の下級生小林秀雄の勧めで雑誌「山嵐」の創刊から同人となり詩を寄稿、フランス象徴派風の独自の詩風が高く評価された。25年、肺結核のため24歳で夭折。没後、友人たちの手によって『富永太郎詩集』が刊行される。

友情

嫌悪に満ちた

特集 特別企画展

「富永太郎と中原中也」

詩人・中原中也に多大なる影響をあたえ、周りの文学仲間の間では一目置かれる存在だった富永太郎。彼は一体どんな人物だったのか!?

中也とはどのような関係だったのか!?

早熟で多才だが、あまり知られてこなかった富永太郎の真の像に迫った、特別企画展「富永太郎と中原中也」が今夏、中原中也記念館で開催される。

この度は、企画を担当される原明子さんへのインタビューによって知られざる「富永太郎」の世界を紐解いていく。

富永太郎

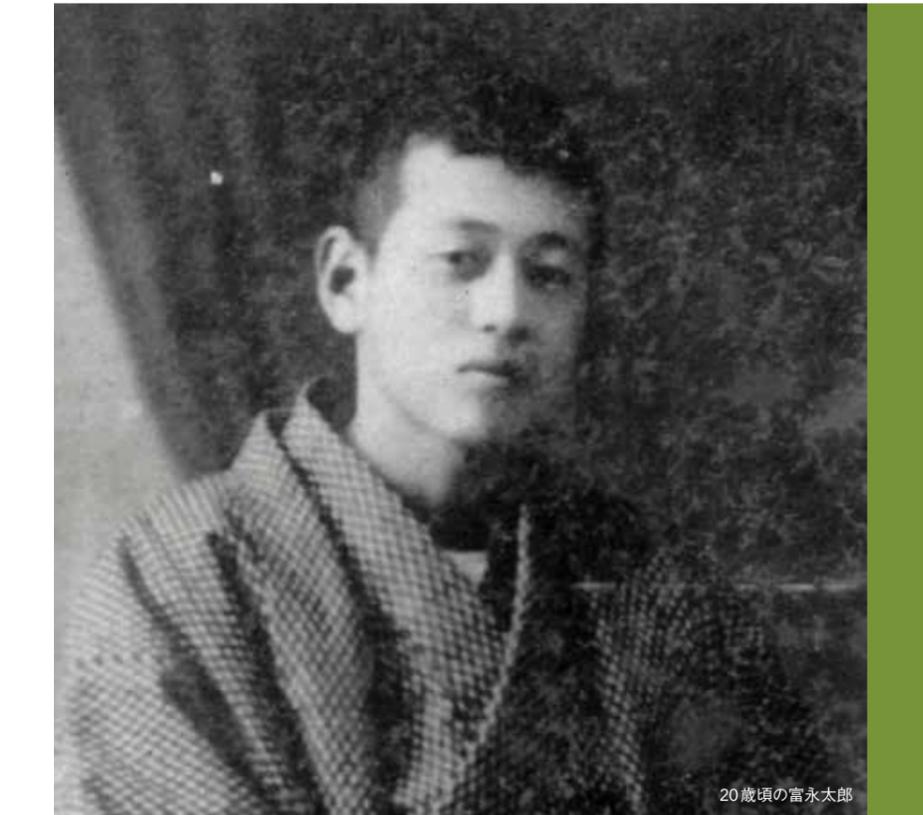
出会うべくして出会った 中也と富永太郎。

今回の特別企画展で取り上げる「富永太郎」とは一体どんな人物なのでしょう。富永太郎は中也より6歳年上の詩人です。フランス語が堪能で、フランスの象徴詩の翻訳もするなど、博識で知性にあふれた人でした。文学もジャンル問わず色々読んでいて、絵も描き、演劇もよく観ていて、その作品に対して鋭い批評を友人に手紙で書き送るなど、とても幅の広い芸術家だといえます。なかでも、絵画に関しては、最後まで画家になろうか、詩人になろうか迷っていたほど。最終的には詩人として活動することになるのですが、残念ながら24歳という若さで結核で亡くなってしまいます。

東京生まれで、格式のある名家の長男として育った生粋のお坊ちゃま。富永はすらっと背が高く、中也の恋人だった長谷川泰子は「ダンディで品があった」と話しています。タバコがすごく好きで白い陶器のパイプをもっていて、それを吸いながらおしゃれに街を歩いたようで、ハイセンスで洗練された都会人といった印象があったようです。

中也と富永太郎はどこで出会ったのでしょうか。

中也が山口中学校を落第して京都の立命館中学に通っていたときです。富永は先ほどもお話したように名家の出でエリートコースを進んでいった人でしたが、第二高等学校に通うために移り住んだ仙台で人妻と恋愛関係に陥ってしまいます。そのことが家族の知るところになり、当時



20歳頃の富永太郎

不倫は姦通罪という犯罪になってしまう。富永家がうまくおさめ表沙汰にはならなかったようですが、そのときに相手の女性の裏切りにあい、心の傷として残ってしまいます。すべてを忘れてたくて、日本を離れ海外で暮らそうと上海に逃げていくのですが、うまく仕事につけずお金はなくなり、自分でもどう生きるべきか方向性を見失ってしまう。そんな生活からも逃げて、日本に戻ってきます。そのあと京都に行き、そこで中也と出会うことに。中也と出会ったころの富永は、自分のなかで一歩乱あったあとでした。お互いに惹きつけ合ったのか、出会うべくして出会った2人。中也が富永と京都で一緒に過ごしたのは半年弱という短い期間でしたが、当時17歳の多感な少年・中也にとってその存在は大きく、文学の世界では先輩でお兄さんの存在だったと思います。

中也は富永からどんな影響を受けたのでしょうか。

中也自身「彼(富永)より仏国詩人等の存在を学ぶ」と言っているように、フランス詩の知識は富永から学んでいます。それまでのダダイズム調の詩からフランス詩にみられるような抒情性のある詩を書くようになるなど、中也は文学的な影響を強く富永から受けています。10代で山口の地方から出てきた中也からみたら、富永は洗練された都会人で自分の知らない世界をたくさん知っている人。そんな人を目の当たりにしてある種の衝撃が中也にはあったんじゃないかなと思います。中也はその横にいて、富永がもっている知識をどん欲に自分のなかに吸収しようとする、その反面、この人には負けたくないというライバル意識もあったのではないのでしょうか。中也にとって富永は、文学的な大先輩であり、かつ自分の個性をぶつけることのでき

個性をぶつけていく存在 文学的な大先輩であり、 中也にとって富永は、

る存在だったのだと思います。また富永太郎は小林秀雄とも知り合いで、療養のため東京に戻った富永を追いかけるようにして中也も上京し、そこで中也は富永の紹介で小林と知り合うこととなります。交友関係でも富永の影響を大きく受けました。

富永太郎は詩人として当時から評価されていたのでしょうか。

中也をはじめ周りの人たちは、その学の深さや、彼が書く詩の独特の世界に魅了されていて、みんな富永を高く評価しています。また、富永の死後、意外なところでは太宰治が富永の詩集を読み、その詩を褒めていたという資料もあります。大岡昇平も戦後になりますが、富永に関する



「富永太郎詩集」

る本を出版したりしています。ですが、富永は早く亡くなってしまったせいもあるのか、いわゆる詩壇に属して詩を発表していたわけではなかったため、知る人ぞ知る詩人という存在でした。残念ながら、いまは中也ほど読まれてはいません。中也を知って、友人の一人として富永が出てくるので知った、という方はいらっしゃるかもしれませんが…。

もし、富永がもっと長く生きていたらどうだったでしょうね。

もっとたくさんの詩を残していたでしょうし、日本の詩の歴史も変わっていたかもしれません。中也の詩も変わっていたかもしれませんね。

富永からみた中也はどんな存在だったのでしょうか？

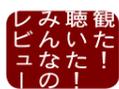
京都で出会った当初は、富永も中也の下宿によく行き文学を語り合っていたと、中也の恋人・泰子が言っています。小さくてピエロのようなだぼっとした長ズボンをはいておどけた格好の中也と、すらっと背の高い富永の2人が歩いている姿は、まるでフランスの詩人ランボーとヴェルレーヌみたいだった、とも。ちょっとロマンチックですね(笑)。

ですが、徐々に富永はこの6歳年下の少年をどう扱っていいのかわからず、手を焼くようになっていきます。当時中也は、ダダイズム(芸術上の主義。伝統的な形式に強く反抗した芸術の潮流)に傾倒していたので周りからあだ名として、「ダダさん」とか「ダダイスト」と呼ばれていて(ただし、途中で中也はダダイズムから離れていきます)、富永の書簡にも時々その呼び名で中也が登場するのですが、「ダマイストとのdégout(嫌悪)に満ちたamitié(友情)に淫して四十日を徒費した。」と書かれたもの



立命館中学3年の頃の中原中也

中原中也



●未発表詩や草稿、ノートが見られて、とてもよかったです。(30代女性 テーマ展「四季詩集——中也とめぐる春夏秋冬」より)
●色彩に魅了されました。前回観てから数十年の時を経て言葉もまた染み入りました。(YCAM 爆音映画祭2019: 密室爆音「ざくろの色」より)
●舞台も近く、子供も狂言に親しみをもてたと思う。(40代女性 「でべそ版ずっけ狂言 でんでんむしむし48」より)
●記録音声聞き、上田敏雄氏の思想、人となりを感じることができました。(30代女性 企画展「沸騰する精神——詩人・上田敏雄」より)

富永太郎ギャラリーへようこそ

画家も志していた富永太郎。
ここでは、彼が残した絵や版画をご紹介します。

※は県立神奈川近代文学館蔵



木版画「プロムナード」※



「門番さん」※



「上海の思ひ出」※



「庭の隅」



自画像(1924年)※



「コンポジション」※



「M夫人とその娘」

があります。年齢や知識の差をもと
せずつつとどんでん返ってくる中也の態
度に、富永はうんざりしていた、嫌気がさ
していたようです。この頃、富永は咯血し、
体調もどんどん悪くなっていく。そういう
状況のなかで中也がぶつつかってくるのは
正直きつかったんじゃないかと思えます。

2人の気持ちは、 どこかすれ違っていたのでは。

中也は距離を縮めたがっていたけれど
も、富永は中也に対して距離を取って
いくようになる？

上京した最初の頃、中也は富永を何度か
見舞うのですが、病状が徐々に悪化し、
危篤状態になる頃には会っていません。

そのときに看病していたのが富永の親
友、正岡忠三郎と富倉徳次郎だったので
すが、自分が危篤状態であることをダダ
さん(中也)には言わないでくれと伝えて
います。なぜそのようなことを富永が伝
えたのかは、研究者のあいだでも意見が
分かれているところですが、私の個人的
な見解は、中也を遠ざけたかったのでは
ないか。富永の気持ちのなかで中也に対
してちょっと距離があったのではないかと
とらえています。

ただ、まだ10代だっ
た中也にはその気持ち
をとらえ切れしてい
なかったのかもしれ
ません。富永には自分
のことを分かって欲
しいし、もっとつきあ
いたい。その気持ちを
ストレートに富永に
ぶつければぶつけれ
ば、富永は身を引い
てしまう。何かあれば
すぐに逃げた(自身も「遁走」という
言葉をよく使っていましたが)、そういう
ところがある人でした。そのあたりは中也
と性質がまったく違っていました。2人の
気持ちは相いれないところがあり、どこか
すれ違っていたのでは…。そこは色々な
見方があるので何とも言いきれないので
すが、そのあたりのことは展示で書簡な

どの資料を見ていただき、みなさんで感
じ取っていただけたらと思っています。

富永の死後、中也に変化はあったので しょうか。

富永は結局、中也に会わないまま亡くなっ
てしまうのですが、当然中也は富永の死
にショックを受けます。純粋に亡くなって
しまっただけというのではありませんが、自
分を文学的に成長させてくれた人を失っ
た衝撃は大きく、そのことは中也の詩作に

も影響をおよぼしていま
す。中也は富永の死の翌年
に自分の方向性が決まっ
たと言いつつ「朝の歌」という
詩を書きあげるので、
それは富永の影響から脱
して自分の世界を作っ
ていかなくてはという意識が
芽生えたことでできあが
った詩なのではないか、その
ことがこの詩をとおして浮
かび上がってきます。富永

と会わなければ、詩人・中原中也は現れて
いなかったかもしれません。

今回の展示はどういった内容・構成にな るのでしょうか。

まず最初に富永と中也の出会いにつ
いて、たくさんの資料を使って丁寧に紹介
していきたいと思えます。次に、富永太郎

の芸術世界というトピックで、彼が描い
たちよと不思議なタッチの絵やフラン
ス詩の翻訳など、富永の芸術活動の幅広
さを紹介できればと考えています。
そして、富永と中也の作品を比較して
みていただきます。2人は似ているよう
にもみえるけど、それぞれの詩を読めば読む
ほどその方向性の違いがみえてきます。
両者を比較しその違いをみせていくこ
とで、それぞれの特性が浮かび上がって
くるような展示になればと考えています。

展示をとおして、一番伝えたいことは何 でしょうか。

まずは「富永太郎」を知って欲しいです
ね。いま彼について調査研究しながら、具
体的に展示の中身を考えているところな
のですが、一体、どういう人物なのか、そ
のことをとらえるのに実は苦戦していま
す。自分のことを自ら語る人ではなかつ
たので、人柄を読み解くのが難しい。見方
によって全然違う像がでてきますし、中也
と富永の関係性も解釈はさまざま。探れ
ば探るほど、色んなことが出てきそう
な人です。そこをどんどん掘り下げてい
こうと思っています。

「富永太郎と中原中也」と出しても、大半
の人が「富永太郎」って誰?と疑問を持
たれると思います。交友関係も文学的な
素養も、中也に強い影響を与えた詩人
として知られていて、中也をきっかけに富

まずは 「富永太郎」を 知ってほしい。

永太郎を知る研究者や読者は多いので
すが、中也から離れて富永太郎自身に目
を向けたときにどんな部分が見えてくる
のか。富永太郎の研究はまだまだ少なく
全集も出ていません。大岡昇平が『富永
太郎全集』の出版準備をしていたので
すが、もうすぐというところで亡くなり、
そのあと進んでいません。それだけ富永
太郎の研究はまだ熟していないのだと思
います。この展示をきっかけに少しでも多
くの方に「富永太郎」を知っていただ
ければ嬉しいです。



特別企画展 「富永太郎と中原中也」

2019年8月1日(木)～9月23日(月・祝)

会場:中原中也記念館

【入館料】 ()内は20人以上の団体料金
一般 320円(270円) 大学生 210円(162円)
70歳以上・18歳以下無料



PRESENT

特別企画展「富永太郎と
中原中也」のパンフレットおよび
関連グッズをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明
記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連
絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、7月31日
(水)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailで
ご応募ください。

A 特別企画展
「富永太郎と中原中也」
パンフレット(3名)

B 県立神奈川近代文学館蔵
富永太郎版画 絵はがきセット(3名)
富永太郎による版画作品4点の絵はがきセット。



【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.109 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

mini PICK UP!

未来の山口の授業 at YCAM
[walking around surround]

2019年8月17日(土)、18日(日)、
24日(土)、25日(日)、9月14日(土)、
15日(日) 各日14:00~16:00
会場:山口情報芸術センター
コミュニティスペース



ワークショップ開催の様子

YCAMが開発した教育プログラムを、一年間通して紹介していくシリーズ「未来の山口の授業」。今回8~9月にかけて行うのは、「音」と「空間」について学ぶワークショップ「walking around surround」です。参加者はYCAMが開発したワイアレススピーカーを使って、「音と空間の作曲」にチャレンジします。音を空間に配置するというアプローチから、「音楽をつくる」聴くとはどういうことなのか」を参加者とともに考えていきます。

[料金] 無料
[対象] 小学生以上
[定員] 各回10名(要申込)

mini PICK UP!

文化庁優秀映画
鑑賞推進事業

2019年9月26日(木)~29日(日)
会場:山口情報芸術センター
スタジオC

優れた映画を鑑賞する機会を作るため、また映画保存への理解を深めることを目的に、文化庁と国立映画アーカイブが、国内の文化施設と連携・協力して、所蔵映画フィルムを全国の会場で巡回上映している「優秀映画鑑賞推進事業」。平成元年度から始まった歴史ある本事業をYCAMでも毎年テーマを変えながら上映してきました。今年は松本清張、山崎豊子による社会派ミステリー小説を原作にした作品などを紹介します。名匠たちが丹精こめて作り上げた力作をご覧ください。

[料金] 全席自由
一律 500円(当日券のみ)
[上映作品]
・「張込み」(1958年/原作:松本清張/監督:野村浩太郎)
・「黒い画集 あるサラリーマンの証言」(1960年/原作:松本清張/監督:堀川弘通)
・「悪い奴ほどよく眠る」(1960年/脚本・監督・製作:黒澤明)
・「白い巨塔」(1966年/原作:山崎豊子/監督:山本薩夫)
※開催時間等、詳細はお問合せください。

PICK UP EVENT! SUMMER 2019

ピックアップイベント

山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

スイッチ総研×YCAM 特別納涼企画 館内ツアー型スイッチ 「あなたの知らない夜のYCAM」

2019年8月23日(金)・24日(土) 出発時間19:00~20:30
会場:館内各所

「スイッチ」を押すと何かが起こる。 3秒~30秒の小さな演劇



各地の芸術祭で話題を集めるスイッチ総研を招いて、公募出演者とともに、YCAMオリジナルの演劇作品を創作し上演します。場所の持つ特性を活かした独自の演劇スタイル「スイッチ」=「スイッチを押すと始まる3秒~30秒の小さな演劇」で、唯一無二の作品を展開し続けているスイッチ総研。彼らが今回YCAMで滞在制作・上演するのは「ツアー型スイッチ」です。観客は「きもだめし」のように数人1組で夜の館内を巡り、ルート上に設置されたいくつもの「小さな演劇」を体験しながらゴールを目指します。今年の夏は、人影もまばらな夜のYCAMで何かが起こる!? 怖かったり、笑えたり、不思議だったり、さまざまな体験があなたを待っています。図書館や劇場、映画館、ラボがあり、ワークショップも体験できるなど、様々な顔を持つYCAM。参加すれば普段とは違う、あるいは知らなかったYCAMの姿が見えてくるかもしれません。ぜひこの機会にYCAMに足をお運びください。



思議だったり、さまざまな体験があなたを待っています。図書館や劇場、映画館、ラボがあり、ワークショップも体験できるなど、様々な顔を持つYCAM。参加すれば普段とは違う、あるいは知らなかったYCAMの姿が見えてくるかもしれません。ぜひこの機会にYCAMに足をお運びください。

スイッチ総研 光瀬指絵さんからのメッセージ

ある時は図書館。またある時は劇場、展示空間、映画館、そしていくつもの怪しげな研究室…。その実態を知るものはいないと言われる謎の巨大施設YCAM。二晩限りの特別なツアーでその正体と秘密が明らかに…!? 館内の暗がりに潜むのは、オバケか? マッドサイエンティストか? 息を殺した俳優たちか!? ハードコアなアート好きから演劇初体験の方まで楽しめる、常軌を逸した愉快な作品をお届けします! 覚悟ができた貴方から、どうぞ扉を開いてください。ようこそ、夜のYCAMへ。

わたしはココに注目する!

スイッチ総研は、「スイッチ」を日夜生み出している演劇チーム。所長の光瀬指絵さんをはじめ、様々な劇団に所属するユニークな俳優たち=研究員、そして今回は、山口市内を中心に公募した出演者たち=非常勤研究員が活躍します。なかには演技初経験の方も! 彼らがどんな活躍をするかもぜひご注目を!

チケット情報 発売中

料金 一般 1,500円 any会員 1,000円 高校生以下 500円
※小学生は保護者同伴 ※所要時間40分程度 ※4名1組、3分間隔で出発 ※1名から申込可

[作] スイッチ総研 [総合演出] 光瀬指絵
[研究開発/出演] 大石将弘、光瀬指絵/石倉来輝(ままと)、小林義典(クロムモリブデン)、矢野昌幸、田島冴香(FUKAIPRODUCE羽衣)*/川上友里(はえぎわ)、森下 亮(クロムモリブデン)
+ 一般公募で選ばれた非常勤研究員 ※研究開発のみ

PROFILE



スイッチ総研 switch souken
俳優の光瀬指絵(ニッポンの河川)、大石将弘(ままと | ナイロン100°C)により2015年結成。新しい形の演劇「スイッチ」を上演する団体。唯一無二の作品展開が大きな注目を集め日本各地の芸術祭に招聘される。様々な街の屋内外でその場ならではの作品を研究開発、地域の俳優や市民と共に上演し好評を得ている。モットー「大人げないことを大人のやり方」。

photo: 演田英明

PICK UP EVENT! SUMMER 2019

ピックアップイベント

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

中原中也記念館 開館25周年記念 トーク&ワークショップ

「紙資料を未来へ——文学館のシゴト」

[トーク] 2019年8月17日(土) 13:30~15:00

会場: セントコア山口

[ワークショップ] 2019年8月18日(日) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30

会場: 山口情報芸術センター 多目的室

あなたの知らない資料修復と本の世界



秦博志

中原中也記念館では開館25周年を記念して、トーク&ワークショップを開催します。講師は資料修復家の秦博志。秦は、中原家の火災によって焼け焦げた中也の日記や原稿の修復を手がけま

した。また、インク焼けにより筆跡そのものが朽ちていく危険がある直筆資料の劣化防止処理といった、特殊な技術が要求される作業をこれまで数多く担当、見事な結果を残しています。今回のトークでは、紙資料修復のエキスパートである秦に、修復の醍醐味や、普

段何気なく手に取っている本やノートの仕組みの面白さなど、資料修復家ならではのお話を伺います。また、糸で綴るノート作りのワークショップも開催します。



わたしはココに注目する!

秦さんと話していると、お医者さんと話しているような気になります。資料が「患者」で秦さんが「医者」。秦さんの手にかかること、資料たちが見事に「快復」します。そこにある秘密とは? 本や文具ファンの方もぜひ!

料金 ■ トーク:無料/ワークショップ:500円(要予約/各回先着15名)

中原中也の会共催

公開講演

2019年9月14日(土) 13:40~(予定)

会場: ホテルニュータナカ

大林宣彦が語る「演じられる中也」

毎年秋に開催される「中原中也の会」大会。第24回を迎える今年には「演じられる中也」をテーマとして開催します。中原中也記念館との共催で行われる公開講演では、映画作家の大林宣彦を講師にお招きします。大林監督といえば、昨年YCAMでも上映された『花筐/HANAGATAMI』(2017)をはじめとする多数の作品により、多くの映画ファンを長年魅了し続けてきた名監督です。監督は中原中也の詩を愛し、『四月の魚』(1986)や『野のなななのか』(2014)など、作品に中也の詩がたびたび登場します。当日はこのほかに、詩人のカニエ・ナハによるパフォーマンスなども予定されています。ぜひご来場ください。

料金 ■ 500円
[講師] 大林宣彦(映画作家)



大林宣彦



昨年の会場風景

わたしはココに注目する!

現在も映画を制作中の大林監督のお話が、「演じられる中也」というテーマを軸にどのように展開するか、お楽しみに!

検定 中也



旅先で昼寝をする中也 (推定:昭和7年8月または昭和10年7月)

Q 中也の夏の過ごし方から出題です。中也は夏になると旅に出ることを楽しみにしており、随筆「夏」には、く夏と聞くと旅意が湧いて来て」と記されています。また、長期で山口へ帰省することもあり、帰省中に友人へ宛てて書かれた手紙も多く残されています。手紙からは中也がのんびりと実家で過ごす様子がうかがえますが、そこにたびたび登場する、中也が楽しみにしていた夏の風物詩とは、次のうちどれでしょうか。

- 1 せみとり
- 2 甲子園
- 3 海水浴

答えは14ページ

中也を味わう

中原中也記念館の前庭にある屋外展示コーナーでは、毎年テーマを替えながら中也の詩を数篇ずつ、美しいビジュアルとともにご紹介いたします。今年のテーマは「夢」。前期(~10月下旬予定)では「雨の日」「吾子吾子」「夏の夜に覚めてみた夢」の3篇の詩を展示中です。

「夢」には、寝ている時に見る夢のほか、将来に抱く願望、空想など複数の意味がありますが、中也の詩に描かれる「夢」も作品ごとに様々な表情を見せます。特に、目覚めたばかりの夢うつつの状態や、眠りに落ちる前の薄れゆく意識の中で見る夢などを題材にしている点には、捉えたいものを言葉で表現しようとする中也の詩人としての姿勢が感じられます。



屋外展示の様子



◎笑点とは違った落語家さんの本当の魅力を感じることができました。(「特撰落語会」より)
◎学校などではできない、ちょっと変わった運動会が体験できて楽しかった。(10代男性 「第4回未来の山口の運動会」より)
◎超自然主義との対比もおもしろく拝見しました。(30代女性 企画展「沸騰する精神——詩人・上田敏雄」より)
◎やぎがみんなでトロールとたたかうところがおもしろかった。(「三びきのやぎのがらがらどん」より)



◎ニール・ヤング、食わず嫌いだったのですが良かったです。(50代女性 YCAM 雑音映画祭2019:密音音「ジャーニー・スルー・ザ・バスト」+「マディトラック」より)
◎詩を四季別に味わい、最後に「詩は四季に隷属しない」という日記の一文を見られたのがとても感動した。(20代女性 テーマ展「四季詩集——中也とめぐる春夏秋冬」より)
◎絵本ではこわいイメージのトロールが、とってもかわいくて良かったです。(「三びきのやぎのがらがらどん」より)
◎テレビ、ラジオ、テープもいいが、何ととっても生は最高!! (「特撰落語会」より)

先行チケット
発売情報
早チケ 7月6日
発売!

宝くじおしゃべり音楽館
2019年10月12日(土) 14:00開演
会場:山口市民会館 大ホール



左から春風亭小朝、島田歌穂、小原孝

楽しいおしゃべり、美しい歌声や演奏、
重厚なオーケストラの響きなど音楽の楽
しさを存分に味わうコンサート「宝くじお
しゃべり音楽館」。司会の春風亭小朝
によるポップで軽快なトークとともに、ピ
アニストの小原孝、歌手の島田歌穂、
そしてこの企画のために結成された「お
しゃべり音楽館ポップスオーケストラ」に
よる想い出のスクリーンミュージックに酔
いしれるひとときをご堪能ください。

【チケット情報】7月6日(土)～
【料金】全席指定 ※4歳未満入場不可
前売 一般 2,500円
高校生以下 1,500円
【司会】春風亭小朝
【出演】小原孝、島田歌穂
【演奏】おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ

先行チケット
発売情報
早チケ any会員
先行予約
8月10日

夏井いつき 句会ライブ
2019年11月16日(土) 14:00開演
会場:山口市民会館 大ホール



テレビのバラエティ番組「プレバト!!」
(TBS系)の俳句コーナーで、辛口先生
として一躍人気の夏井いつきが全国で
行っている「句会ライブ」が山口市民会
館にもやってきます。俳句のイメージを
一新する軽快なトークを楽しみながら、
誰でも5分で1句を作ることができるコツ
を知ることができます。また、実際に投
句していただき、選ばれた句を会場のみ
なさんと鑑賞します。ぜひ俳句の奥深さ
を味わいにお出かけください。

【チケット情報】
any会員先行予約 8月10日(土)～
一般発売 8月17日(土)～
【料金】全席指定
前売 一般 2,000円
any会員1,500円
当日 2,500円

P I C K U P E V E N T ! S U M M E R 2 0 1 9
ピックアップイベント

山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

オフィス300

「私の恋人」

2019年8月15日(木) 18:30開演

会場:大ホール

上田岳弘原作、 小日向文世×のん×渡辺えり出演の新作舞台

劇作家・演出家・女優の渡辺えりが主宰
する劇団「オフィス300(さんじゅうまる)」
が、2014年の「天使猫」以来5年ぶりに山
口で新作舞台を上演。今年、第160回芥
川賞を受賞して注目を集める上田岳弘が
2015年に発表した小説『私の恋人』を
ベースに、渡辺えりが独自の切り口で音楽
劇へと仕立て上げます。渡辺えりがかねて
からいつか一緒に舞台を!と願っていた小日向文世と、
のん、そして渡辺えりほか出演。
クロマニヨン人から現代の新宿まで、性別を超え、時
代を超えた30の役を3人で演じる壮大なスケールのお
芝居にご期待ください。



小日向文世 のん 渡辺えり

わたしはココに注目する!
テレビでは女優・コメンテーターとしてはよく知られている渡辺えりさんですが、忙しいなかでもこれまでに多くの舞台作品を創作・発表されています。この舞台では劇作家・演出家としての顔をあわせ持つ、才能豊かな「渡辺えり」を実感できるのではないのでしょうか。

チケット情報 発売中(残りわずか)
料金 前売 一般 5,000円 any会員 4,500円(1会員4枚まで) 25歳以下 2,500円
※当日券は各500円増(any会員は割引対象外)

【原作】上田岳弘「私の恋人」(新潮社) 【脚本・演出】渡辺えり 【出演】小日向文世、のん、渡辺えり ほか

アロハカーニバル 2019

2019年9月7日(土) 13:00開演

会場:大ホール

フラダンスを楽しむ! 知る!

山口県内外のフラダンス愛好者が一堂に集まるフェ
スティバル「アロハ・カーニバル」。山口市唯一のフラ
ダンスのフェスティバルとして9月開催が恒例となり、
今年で9回目。来年はついに10周年を迎えます。今
年は会場を変え、山口市民会館に。20組(約300名)
の団体が出場し、それぞれの日頃の練習の成果を披
露します。ハワイの食べ物、飲み物、雑貨等のバザー
も昨年よりさらに充実。一日中楽しめるカーニバルを
目指しています。本場ハワイにだって負けないパワー
と、気持ちがかもったダンスがあなたを待っています!!



昨年開催の様子

わたしはココに注目する!
ゆっくりとした手の動きやなめらかな腰の動き、指の動きひとつひとつにも意味があり、神様・自然への感謝の気持ちと祈りを表すフラダンス。それぞれの団体によって表現も様々ですが、どの顔にも笑顔があふれていて、観る者の気持ちを晴れやかにしてくれます。

チケット情報 7月20日(土)～
料金 全席自由 一律 500円

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

真夏の夜の星空上映会

2019年8月9日(金)～11日(日・祝) 各日19:30～

会場:山口中央公園(山口情報芸術センター前) [料金]無料

8月9日(金)

「ナビィの恋」

(1999年/日本/92分)

奈々子は都会の喧騒に疲れて沖縄の離島・粟国
島に久しぶりに帰ってきた。温かく迎えてくれる恵
達おじとナビィおばあ。だが、島までの船に一緒
に乗っていた白いスーツの老紳士が、かつてのナ
ビィおばあのお恋人だと分かり…。沖縄の美しい風
景と音楽が彩る大人の恋の物語。



©1999 オフィス・シロウス/バンダイビジュアル

8月10日(土)

「ボス・ベイビー」[日本語吹替版]

(2017年/アメリカ/98分)

大人並みの知能を誇る赤ちゃんが巻き起こす騒動を描く。スー
ツをピンと着こなす赤ちゃんの姿が、奇妙で愛らしい。『怪盗グ
ルー』シリーズなどのユニバーサルスタジオと、『シュレック』シ
リーズなどのドリームワークスアニメーションが組んだコメディ。



DreamWorks The Boss Baby ©2018 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.
©2018 Universal Studios. All Rights Reserved.

8月11日(日・祝)

「ジュラシック・ワールド 炎の王国」

(2018年/アメリカ/128分)

[日本語吹替版]

恐竜が放たれたテーマパークが舞台のアドベンチャー『ジュラ
シック・ワールド』の続編。前作で崩壊へと追い込まれた、イスラ
ヌパル島の恐竜テーマパーク。無人地帯となったそこには、恐
竜たちがたくましく生き残っていた。だが島の火山に、噴火の予
兆が見られたことで恐竜たちの生命に危険が及び寄る…。



©2018 Universal Studios. All Rights Reserved.

映画上映。星空の下で楽しむ

今年もこの時期がやってきた!夏の星座が瞬く夜空のもと、
クラシックな映画、親子で楽しめる映画、話題の映画が
日替わりで楽しめる3日間。夏の夜限定のスペシャルな
映画上映を楽しみたい人は山口中央公園に集合だ!!

星空上映会にあわせた
おいしいドリンクや
フードの屋台もお楽しみに!



7 July

8 August

9 September

※掲載内容は2019年6月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター
(YCAM)
http://www.ycam.jp/

- 7 オペラシアターこんにゃく座 オペラ「銀のロバ」
- 6 7 未来の山口の授業 at YCAM「バスタ建築」
- 13 14
- 4 7 YCAMシネマ
- 11 15 YCAMシネマ
- 18 21 YCAMシネマ
- 25 28 YCAMシネマ

- 23 24 スイッチ総研×YCAM「あなたの知らない夜のYCAM」(本誌P10参照)
- 17 18 未来の山口の授業 at YCAM「walking around surround」(本誌P10参照)
- 24 25
- 1 4 Y C A M シネマ
- 8 12
- 15 18 YCAMシネマ
- 22 25 YCAMシネマ

- 4 11 SFPC Summer 2019 in Yamaguchi
- 14 15
- 5 8 YCAMシネマ
- 12 16 YCAMシネマ
- 19 23 YCAMシネマ

山口市民会館
http://www.yamaguchi-civichall.com/

- 5 VOICE SPACE CONCERT TOUR 2019「アラベスクの飾り文字」

- 15 オフィス3〇〇「私の恋人」(本誌P12参照)
- 31 バントマイムプラネット「リトルピーシーズ」
- 7 アロハカーニバル2019(本誌P12参照)

中原中也記念館
http://www.chuyakan.jp/

開催中 28 第16回テーマ展示「四季詩集——中也とめぐる春夏秋冬」

開催中 28 企画展「沸騰する精神——詩人・上田敏雄」7/14プロムナード・トークあり(本誌P8参照)

1 特別企画展「富永太郎と中原中也」8/3、24、9/22プロムナード・トークあり(本誌P2~7参照)

26 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術センター

23 中原中也を読む会

14 公開講演(本誌P11参照) 会場:ホテルニュータナカ

27 中原中也を読む会

26 ~2020/2/11

26 ~11/24 開館25周年記念展 文学表現の可能性(前期)「ムットーニからくり文学館」

※7/29~9/25は特別企画展開催中のためお休み

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ(24時間受付)

http://www.ycfcp.or.jp/

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

電話 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口 チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネットでチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき700円、

2人目以降は1人につき500円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分200円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

ハンモックに揺られながら星空を眺めたり、誰かの手料理を肴に、楽しい会話がどこまでも続く。そんな「夜ピクニック」にはまっています。[M.D] YCAMシネマなどで来館者が多い時期は事務室に届く忘れ物も急増します。最近よくあるのが、トートバック丸ごと忘れるケース。自分も気をつけよう…。[T.I]

GW初日、お隣のNHKさんと毎回欠かさず見ている「生さだ」の公開収録が!! さだまささんとタイトルコールを唱和した私です。[K.A]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/

B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.yamaguchi-civichall.com/

検定 中 也

A. 甲子園

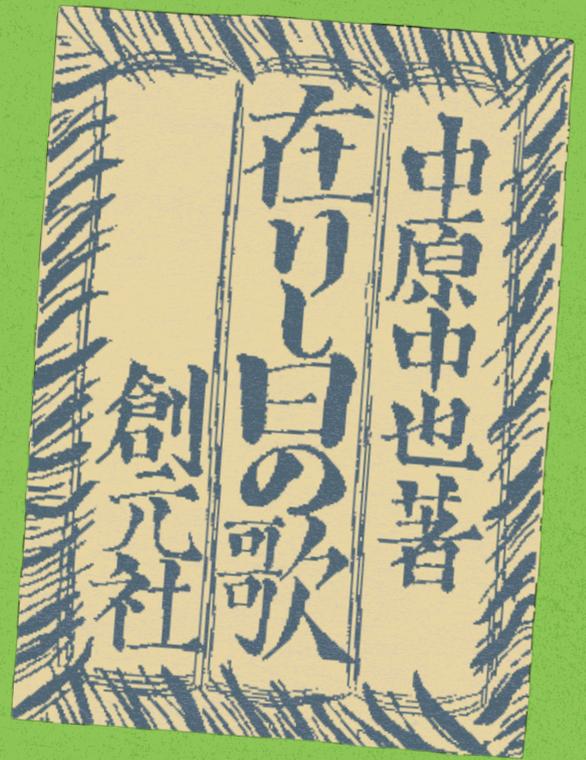
(「毎日甲子園を聞いてゐます」(1932年8月15日付 安原嘉弘宛葉書)など、ラジオ観戦したことが何度か書かれています。)

観 覧 聴 取
し び ぬ いた
ユ ナ タ !
の !

◎運動が苦手な娘でしたが楽しく参加できました。(30代男性 「第4回未来の山口の運動会」より)
◎凜然としたイメージでできていなかったバイオテクノロジー、パーソナルバイオを実体験できたことが良かったです。(30代女性 「パーソナルバイオテクノロジー」より)
◎役者さんの声や表情、しぐさから色んなものが伝わってきて、生で芸能に触れることはいいなーと改めて思いました。(30代女性 「でべそ版ずっけ狂言 でんでんむしむし48」より)



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion



中原中也
山の手歌

